

# 黒部峡谷「下ノ廊下」

2014年10月25日(土)～26日(日)

天候 晴れ

メンバー 5名

<p>***コースタイム***</p> <p><u>10/24(金)</u> 21:30 マイカーにて池田出発</p> <p><u>10/25(土)</u> 7:30 扇沢駅(関電トローリーバス) 7:42 黒部ダム 8:56 内蔵助出合 11:28 白竜峡 12:42 十字峡広場(昼食) 14:54 仙人谷ダム 15:55 阿曾原温泉 泊</p> <p><u>10/26(日)</u> 4:56 阿曾原温泉 6:18 折尾ノ大滝 7:19 大太鼓 9:22 パノラマ展望台 9:49 樺平駅 10:01 樺平駅出発(トロッコ電車) 11:20 宇奈月駅 マイカーにて帰途につく (扇沢→宇奈月:マイカー回送サービスを利用)</p>	<p>***活動報告***</p> <p>黒部峡谷の下ノ廊下を黒部ダムから樺平まで歩いてきました。</p> <p>1日目は「旧日電歩道」、2日目は「水平歩道」と呼ばれる、黒部峡谷の絶壁にコの字型にくり抜かれた狭い歩道を歩きます。</p> <p>場所によっては100m以上の高さになり、スリル満点の歩道です。</p> <p>紅葉が真っ盛りで、紅葉に彩られた迫力ある黒部峡谷の絶景を存分に堪能することが出来ました。</p> <p>阿曾原温泉にて宿泊(男性2人はテント泊、女性3人は小屋泊)しました。</p> <p>満天の星空の下での露天風呂、最高でした。</p> <p>天気に恵まれ、思い出に残る山行となりました。</p>
---	---



早朝の扇沢駅。

ここから関電トローリーバスに乗って黒部ダムまで行く。

モルゲンロートが美しい。



始発のトロリーバスに乗ることができた。  
関電トンネルの中を黒部ダムに向けてトロリーバスは走る。



黒部ダムに到着。  
乗客は全て登山客。  
僕らは「日電歩道・内蔵助谷方面」と書かれた方に進む。



しばらく林道を歩いた後、谷に向かって下る。



下りきったら、黒部川を渡る。  
左手には黒部ダムが。



始めのうちは普通の川沿いの登山道。  
しかし進むにつれ、徐々に谷が深くなってきた。



岩がデカイ！水が綺麗！



紅葉がとても綺麗！



岩壁をくり抜いた細い道に変わってきた。  
転落防止のワイヤーも張られていて、いよいよ日電歩道らしくなってきた。



いよいよ高さが増してきた。  
スリッパないように1歩1歩慎重に歩く。



渡渉ポイントで休憩。  
青空と紅葉のコントラストが美しい。



いよいよ下ノ廊下の核心部の 1 つである「白竜峡」が近づいてきた。



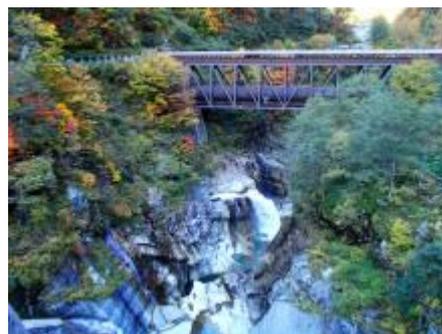
白竜峡では、川が轟音と共に白く泡立ちながら激しく流れており、非常に迫力があつた。



十字峡にかかる吊橋。ここも水量が凄くて迫力満点！  
十字峡は、2つの川が同時に黒部川に合流している地点で、文字通り十文字になっている。



紅葉が美しいS字峡。  
高度感はかなりのもの。



仙人谷ダム。  
ダム湖が真っ青で綺麗。



仙人谷ダムの施設内を通る。



やっと阿曾原温泉に着いた。  
男性はテント泊、女性は小屋泊。  
露天風呂は最高でした！



翌日、まだ暗い午前5時前に  
阿曾原温泉を出発。



折尾の大滝で記念撮影。



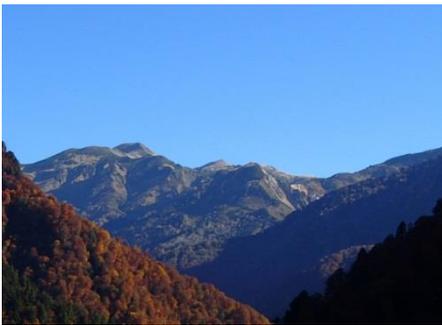
水平歩道。  
日電歩道と同様、狭くて高度感あり。



志合谷のトンネル。  
トンネル内は真っ暗で照明が必要。  
足元はビチャビチャ。



よくもまあ、こんな所にこんな歩道を通したものです。  
これを作った先人達は凄い！



白馬岳に鹿島槍、唐松岳が見えました。



パノラマ展望台で記念撮影。  
ゴールの樺平もうすぐ。  
事故も無く、皆さん本当に良く頑張りました！



樺平に到着。ここからトロッコ電車に乗って宇奈月温泉へ。  
温泉で汗を流し、マイカーで帰阪。お天気に恵まれ、最高の思い出となりました。